

コミュニティFMを活用した緊急情報の提供が予算化

9月15日から10月17日まで、区議会第三回定例会が開かれます。

今議会に提案された補正予算に、「コミュニティFMを活用した緊急情報の提供」として、2千3百万円が計上されています。FM放送局に、緊急情報を迅速に発信する装置を整備するとともに、非常時に自動的に電源が入り緊急情報が受信できる「緊急告知ラジオ」

の購入費助成がもりこまれました。1万円ほどのラジオが千円で購入できる予定です。

6月議会で日本共産党の志村議員が災害時に役立つFMラジオ「中央エフエム」をもっと活用するよう提案。さっそく予算化されよかったです。

9月の補正予算では、この他に日本橋区民センターに太陽光発電設備を設置する予算などが計上されています。



十思スクエア内小規模特養ホーム



外観イメージ (委員会資料より)

2014年(平成26年)開設予定の十思スクエア内の小規模特別養護老人ホーム。埋蔵文化財調査が必要になったため、工事の本格的な着工がずれ込むことになりましたが、完成が遅れないよう、プール解体工事と受水槽などの機械設備の移設工事を先行して行うことになりました。

施設の開設は14年3月から半年延び9月になる予定です。「日本橋にも早く特養を」の声にこたえた早期の開設が望まれます。

問題だらけの

子ども・子育て新システムはNO!

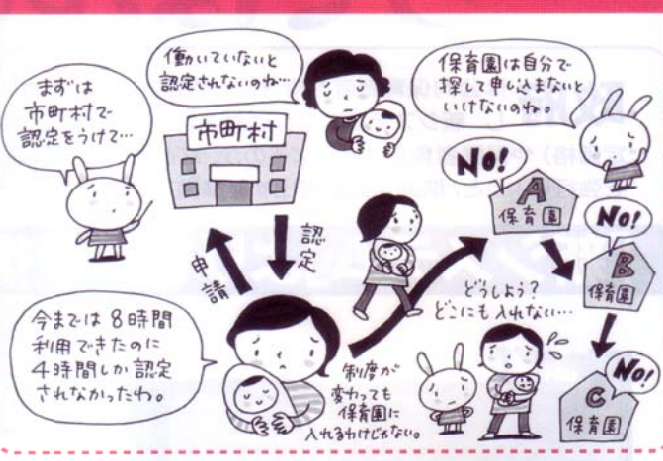
2年間で3人目の首相、民主党野田政権になりましたが、現在、政府は、公的保育制度を解体し、保育の市場化をめざす「子ども・子育て支援システム」を来年度から導入しようと準備しています。子ども・子育て新システムというのは、子育てに関わる国の財源を一本化して、保育園と幼稚園も一体化し、それによって保育所の

待機児を解消するとしていますが、新たに複合型の施設をつくるなど、一体化どころか「三元化」になる問題の多い制度です。

ねらいは、国や自治体が保育所を整備する責任をなくし、営利企業が参入しやすいように保育の基準をどんどん緩和し、国が出す財源を減らしていくのが目的です。

国・自治体が責任をもって保育所・幼稚園・学童保育の条件整備をはかるよう、新システムの導入の声を広げましょう。

保育園選べるというけれど...



全国保育園団体連合会チラシより抜粋

お知らせ

- 9月18日 10:00~17:00 国保なんでも電話相談会
フリーダイヤル0120-296-290
- 9月19日 13:30~「さようなら原発集会」 明治公園
- 9月29日 18:30~「自然エネルギー社会は
こうして実現できる」月島社教ホール
- 10月1日 13:30~ 新婦人りんご班
「フラワーアレンジメント」体験会
日本橋公会堂2F集会室